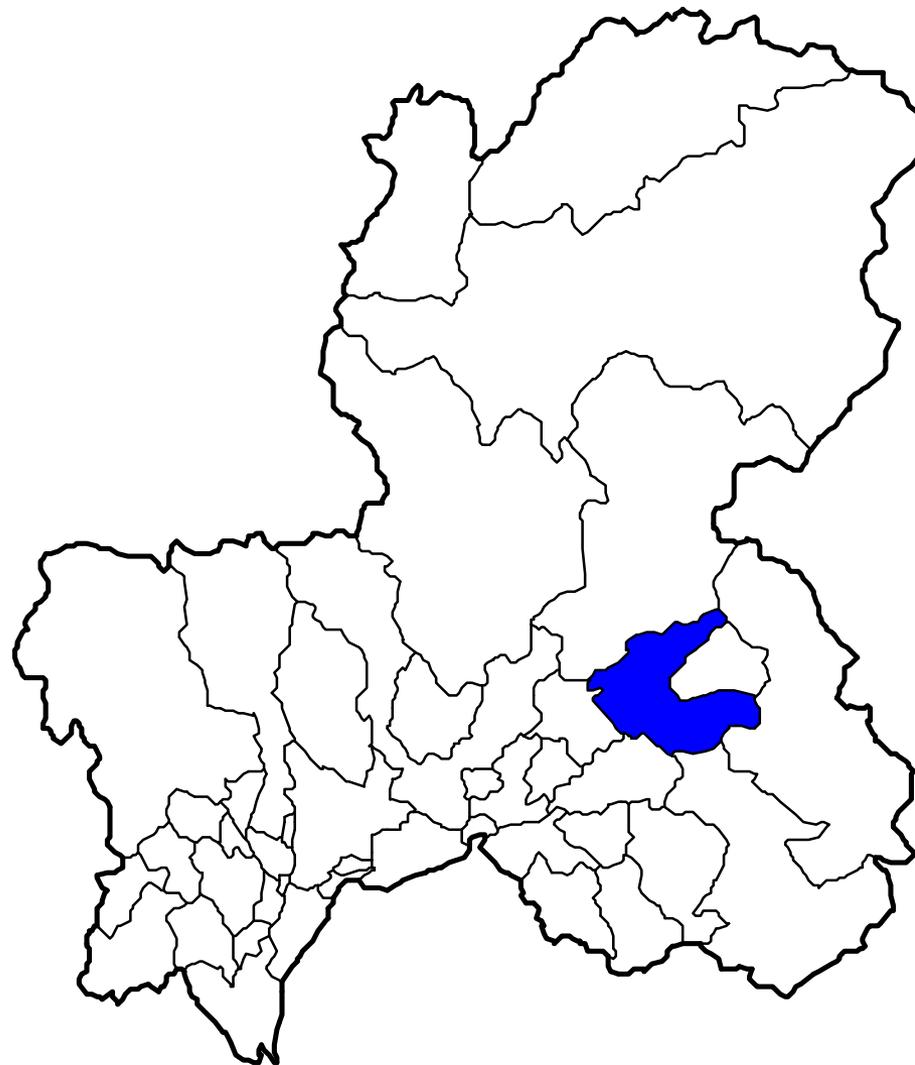


統計からみた 白川町 の現状

| 総面積km ² | 割合% | 順位 |
|--------------------|------|----|
| 237.9 | 2.24 | 11 |

※割合：県全体に占める割合



岐阜県 統計課
2026年3月更新

白川町の人口は減少が続いている

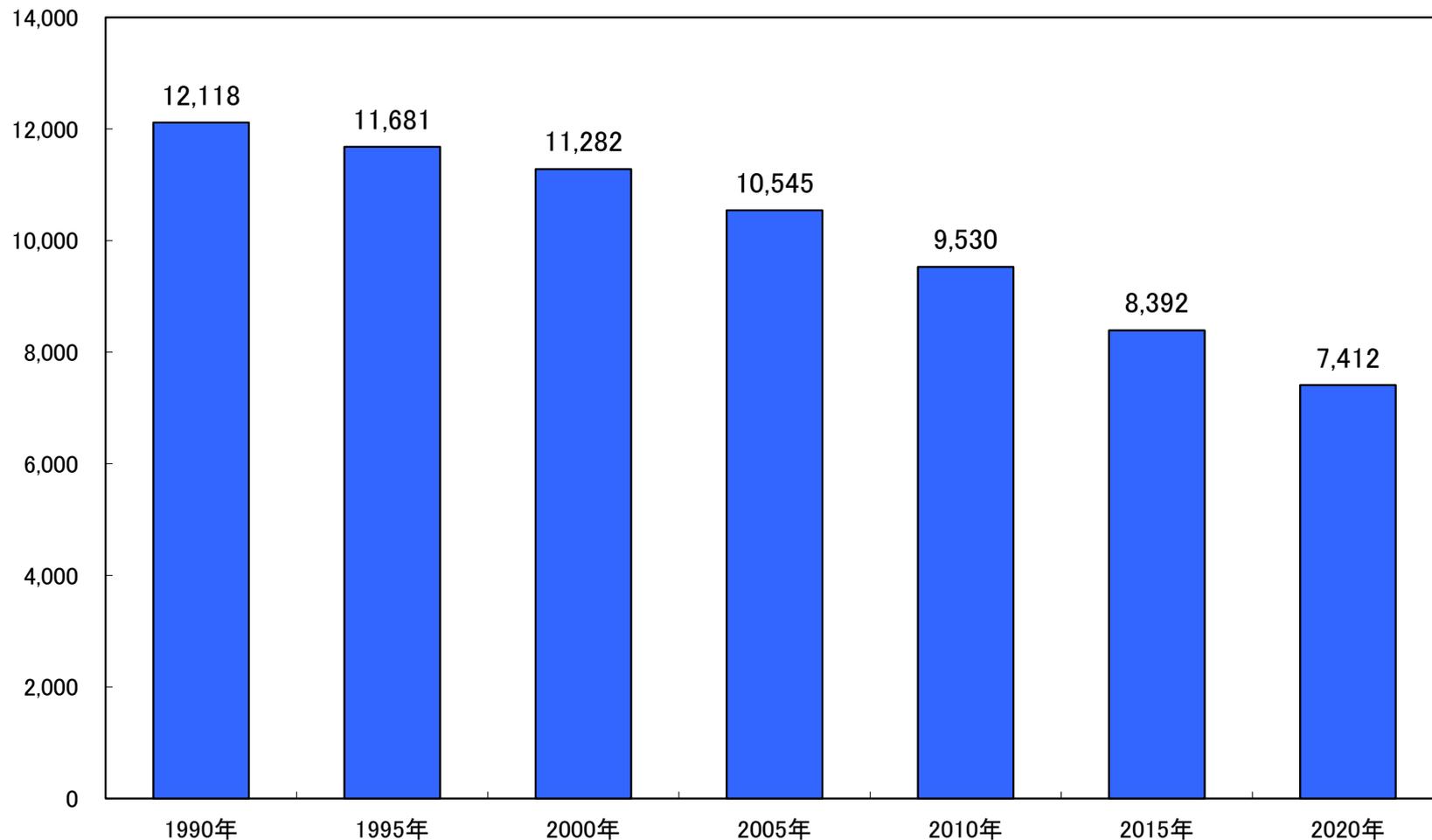
2010年： 9,530人 → 2015年： 8,392人 (△1,138人)

2015年： 8,392人 → 2020年： 7,412人 (△ 980人)

人口順位： 県内37位 県人口に占める割合： 0.6% (1990年) → 0.4% (2020年)

(人)

総人口の推移(白川町)

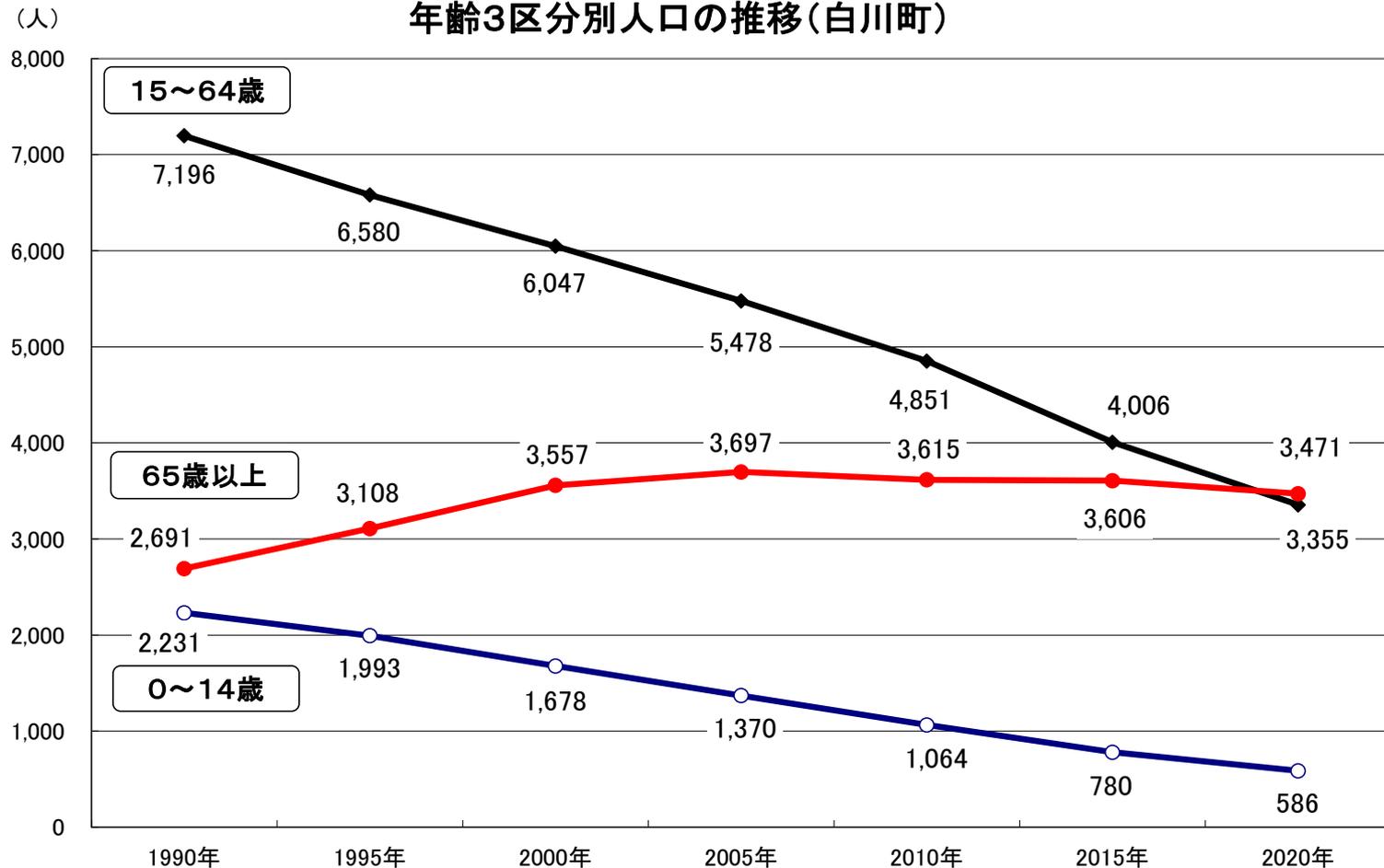


全ての世代で人口が減少している

| 人口の増減数 | 2010→ 2015年 | 2015→ 2020年 |
|--------|----------------|----------------|
| 0～14歳 | △ 284 | △ 194 |
| 15～64歳 | △ 845 | △ 651 |
| 65歳以上 | △ 9 | △ 135 |

| | 年齢3区分別人口の割合 (2020年) | | |
|--------|---------------------|-------|------|
| | 白川町 | 岐阜県 | 県内順位 |
| 0～14歳 | 7.9% | 12.3% | 42位 |
| 15～64歳 | 45.3% | 57.3% | 42位 |
| 65歳以上 | 46.8% | 30.4% | 1位 |

年齢3区分別人口の推移(白川町)

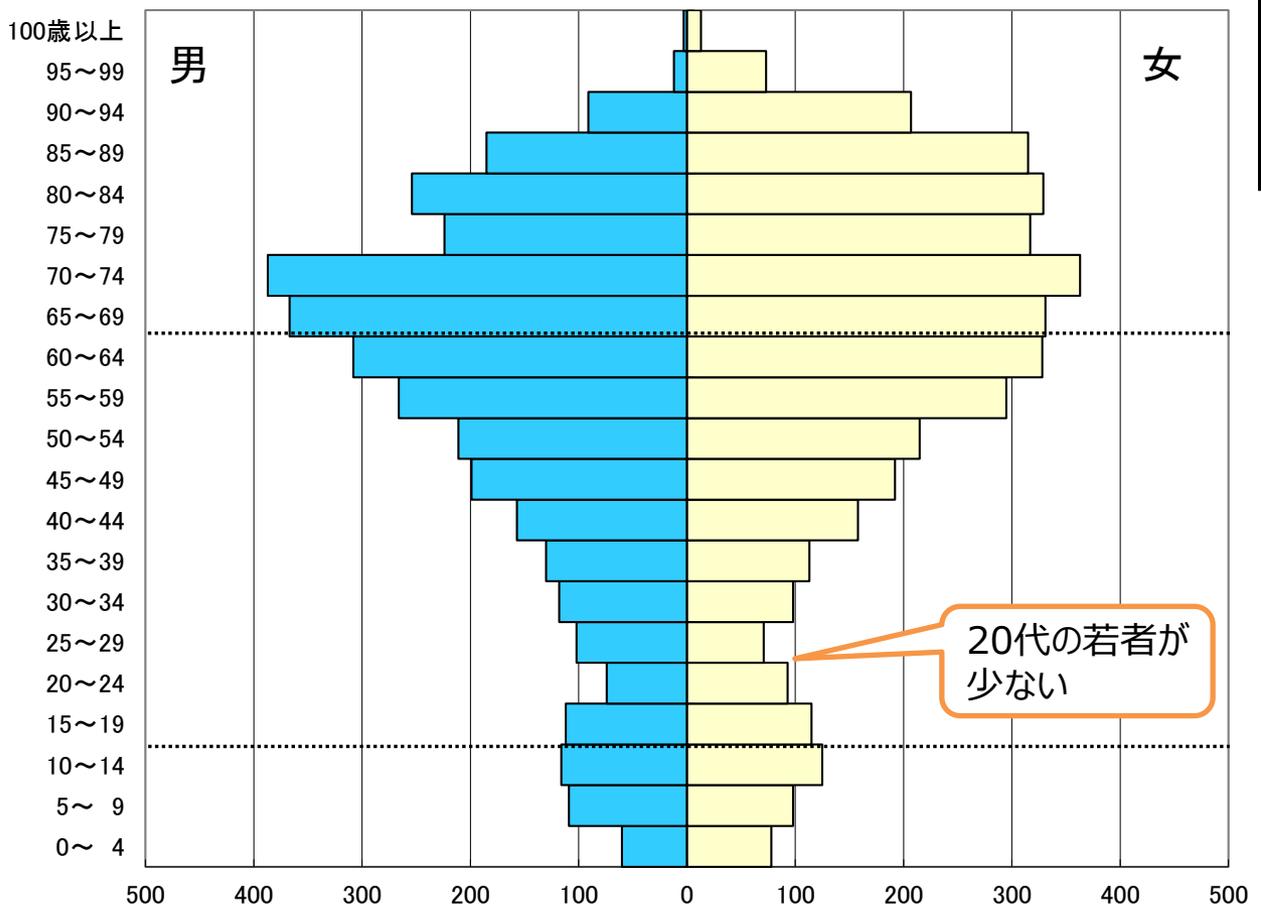


若い世代が少なく、中高年層に大きな厚みのある年齢構造 60代～70代の人口が多い

厚みのある中高年層が65歳以上となり、高齢者はさらに増加するとみられる。

人口に占める65歳以上人口の割合 1990年：22.2%（2位） → 2020年：46.8%（1位）

2020年人口ピラミッド(白川町)



| | 人口(人) | 構成比(%) |
|--------|-------|--------|
| 総人口 | 7,412 | 100.0 |
| 0～14歳 | 586 | 7.9 |
| 15～64歳 | 3,355 | 45.3 |
| 65歳以上 | 3,471 | 46.8 |

<岐阜県全体の人口構成>

- ・0～14歳 : 12.3%
- ・15～64歳 : 57.3%
- ・65歳以上 : 30.4%

<構成比の県内順位>

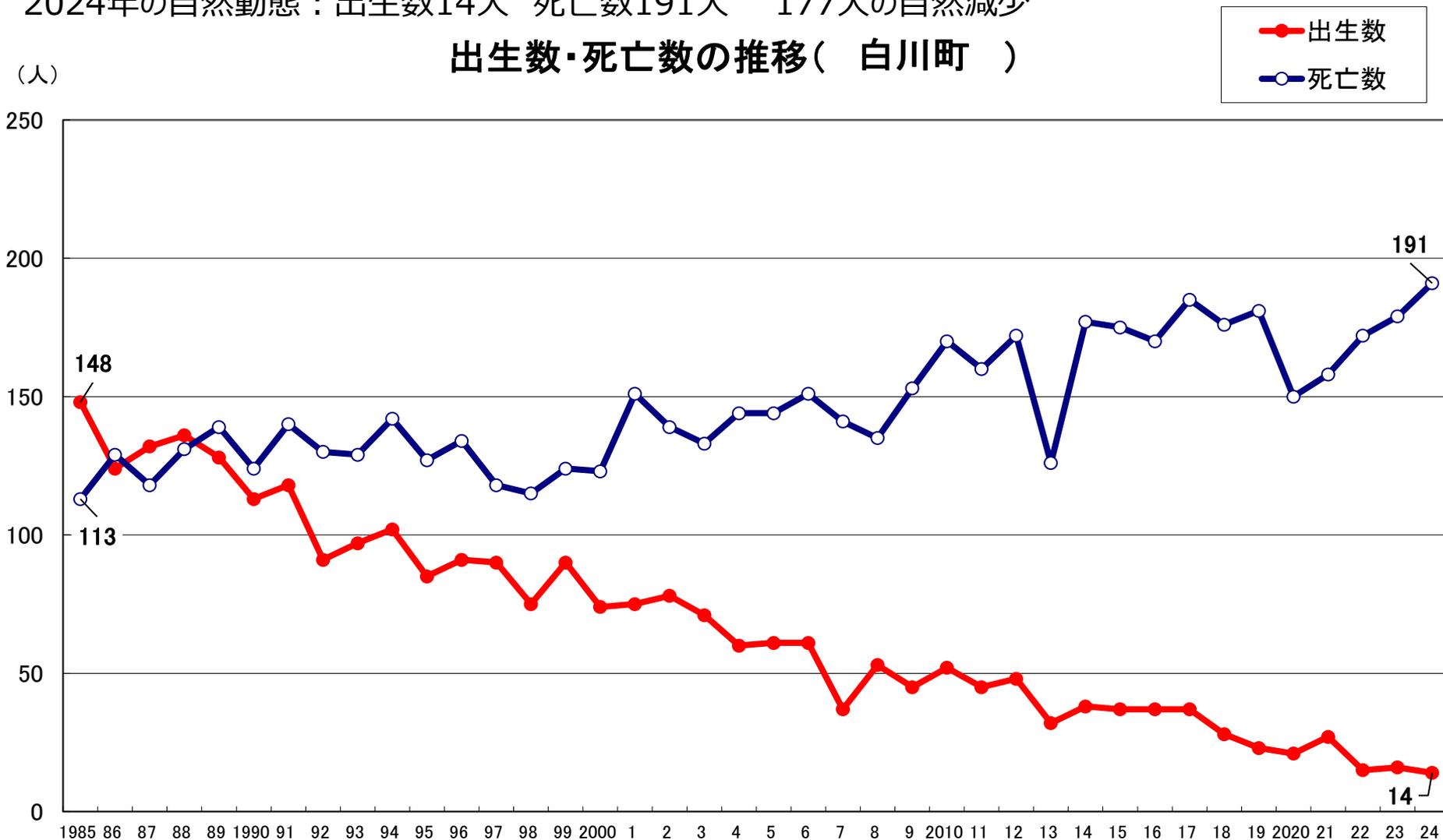
- ・0～14歳人口 : 42位
 - ・15～64歳人口 : 42位
 - ・65歳以上人口 : 1位
- ※数値の大きい順

20代の若者が少ない

出生数が減少する一方、死亡数が増加 1989年以降、死亡数が出生数を上回る自然減少が続く

2024年の自然動態：出生数14人 死亡数191人 177人の自然減少

出生数・死亡数の推移（白川町）



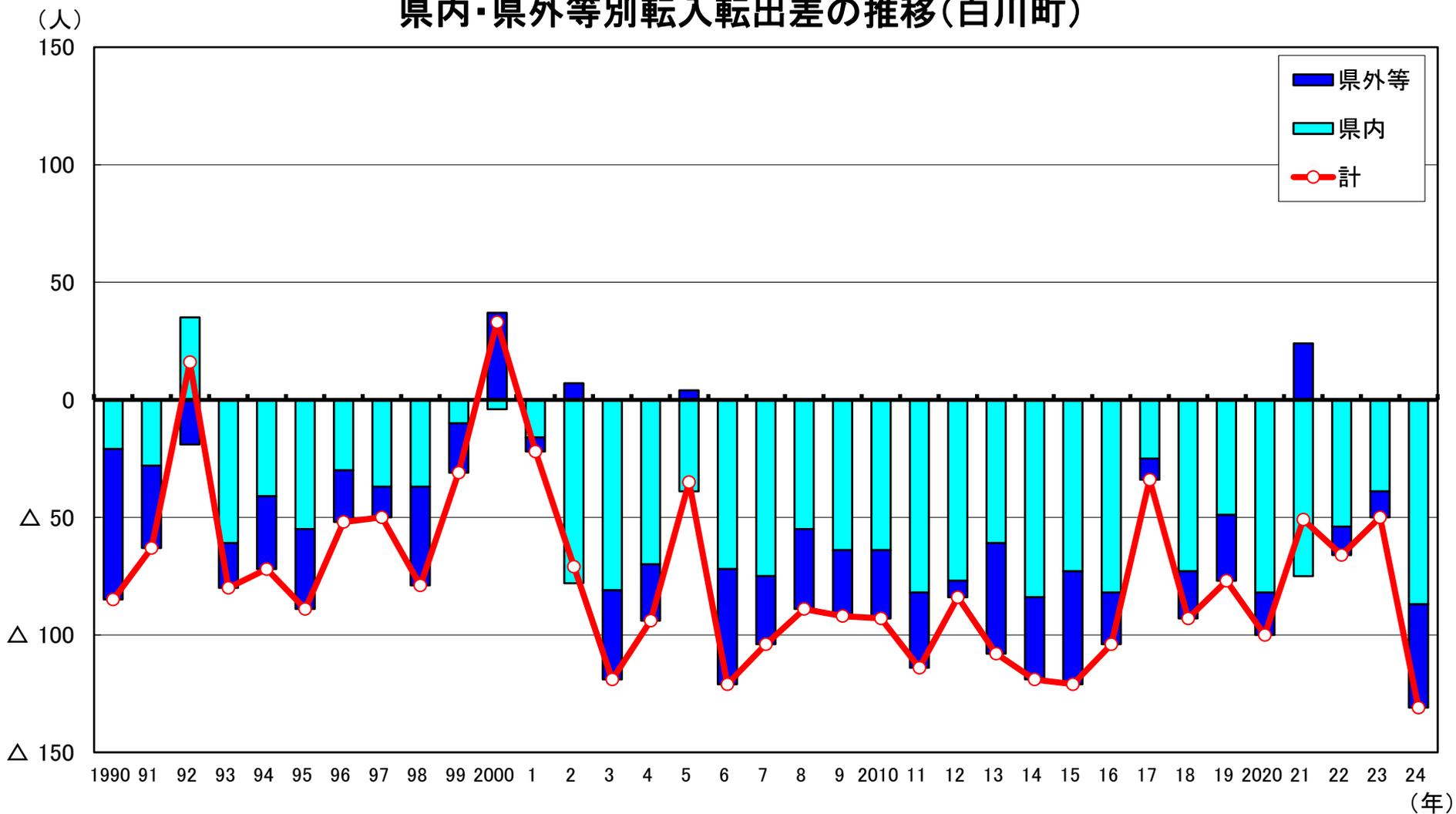
出典：厚生労働省「人口動態統計」（日本人 1～12月の年計）

(年)

2001年以降、転出超過が続く

2024年の社会動態：転入143人 転出274人 131人の転出超過

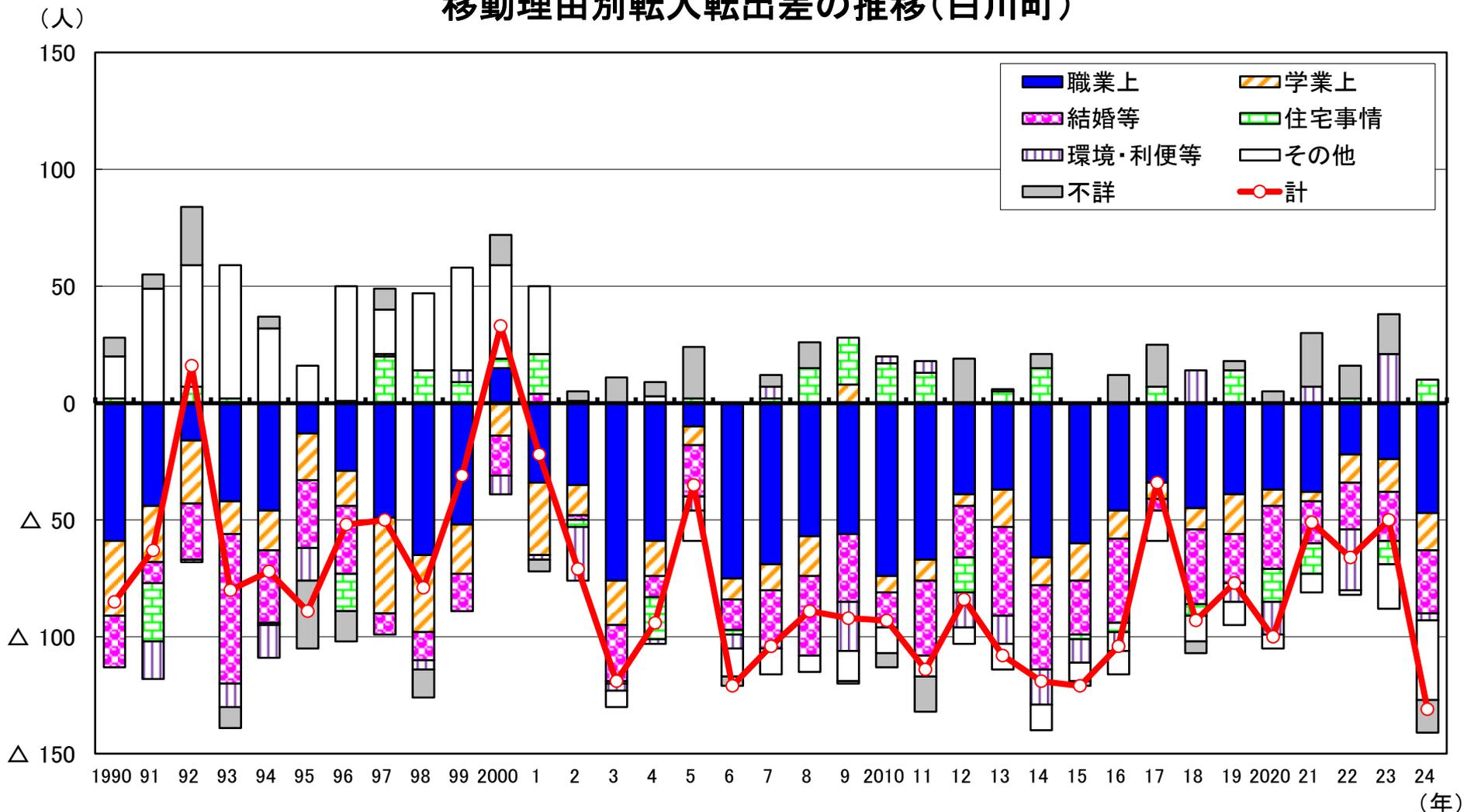
県内・県外等別転入転出差の推移(白川町)



出典：岐阜県「岐阜県人口動態統計調査」 ※計、県外等には職権記載等を含む。 ※転入転出数は前年10月1日～同年9月30日の合計

職業上、結婚等及び学業上を理由とした転出超過が続く

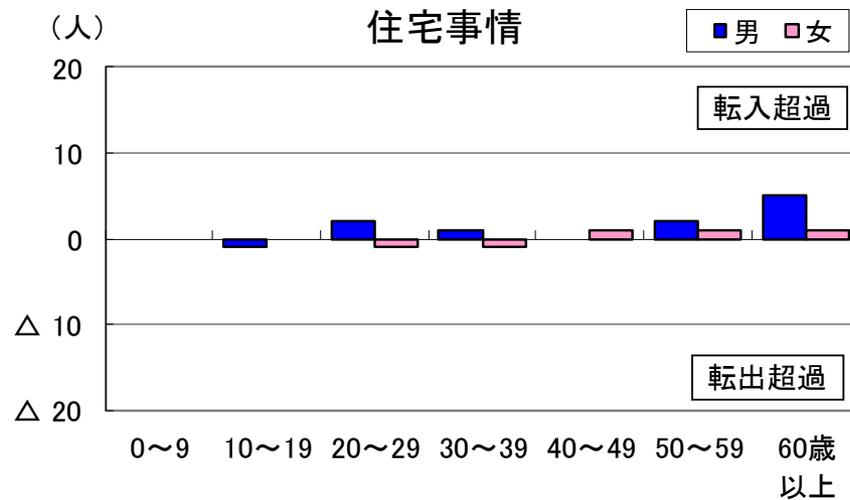
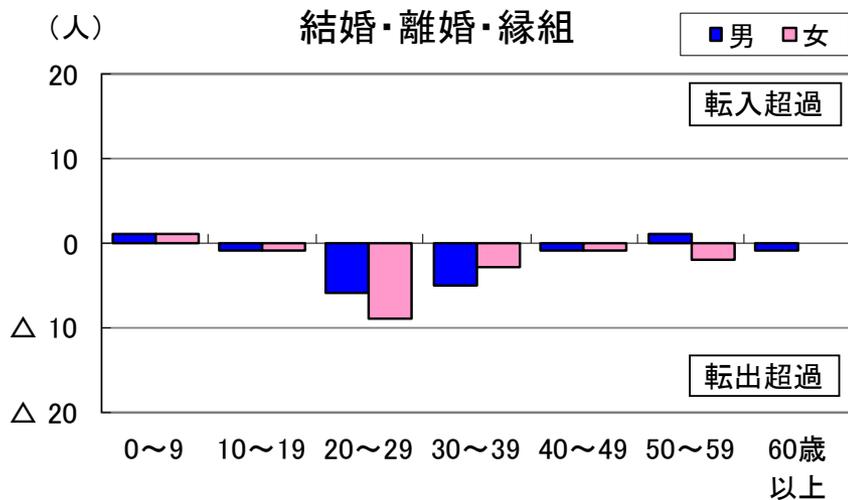
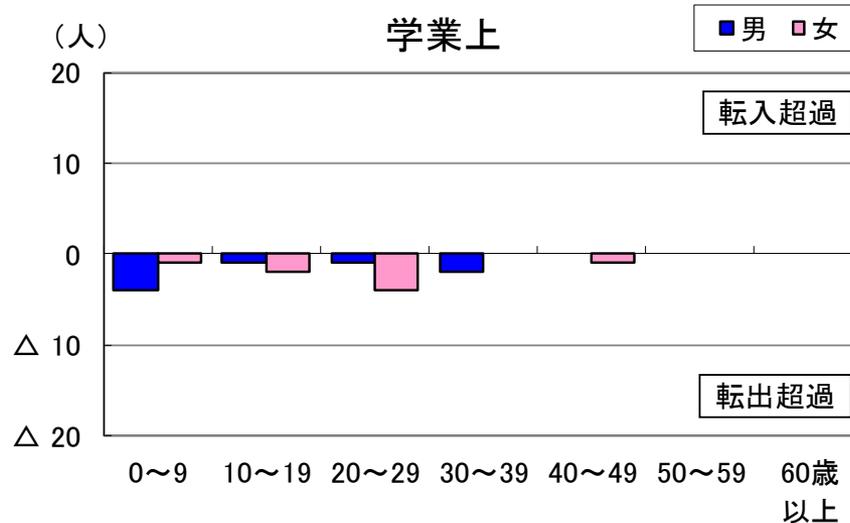
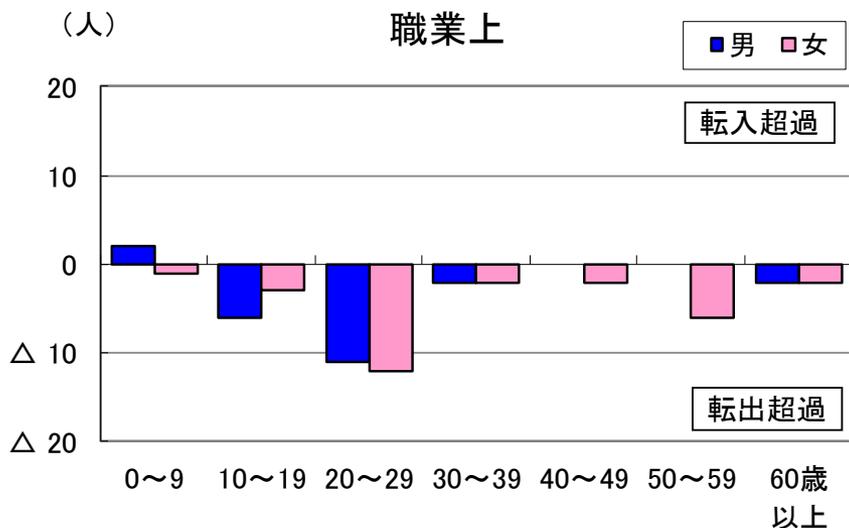
移動理由別転入転出差の推移(白川町)



出典: 岐阜県「岐阜県人口動態統計調査」「岐阜県転入転出理由実態調査」(不詳=外国人+職権、環境・利便等=生活環境の利便+自然環境+交通の利便)

職業上、結婚等を理由とした20代の転出超過が多い

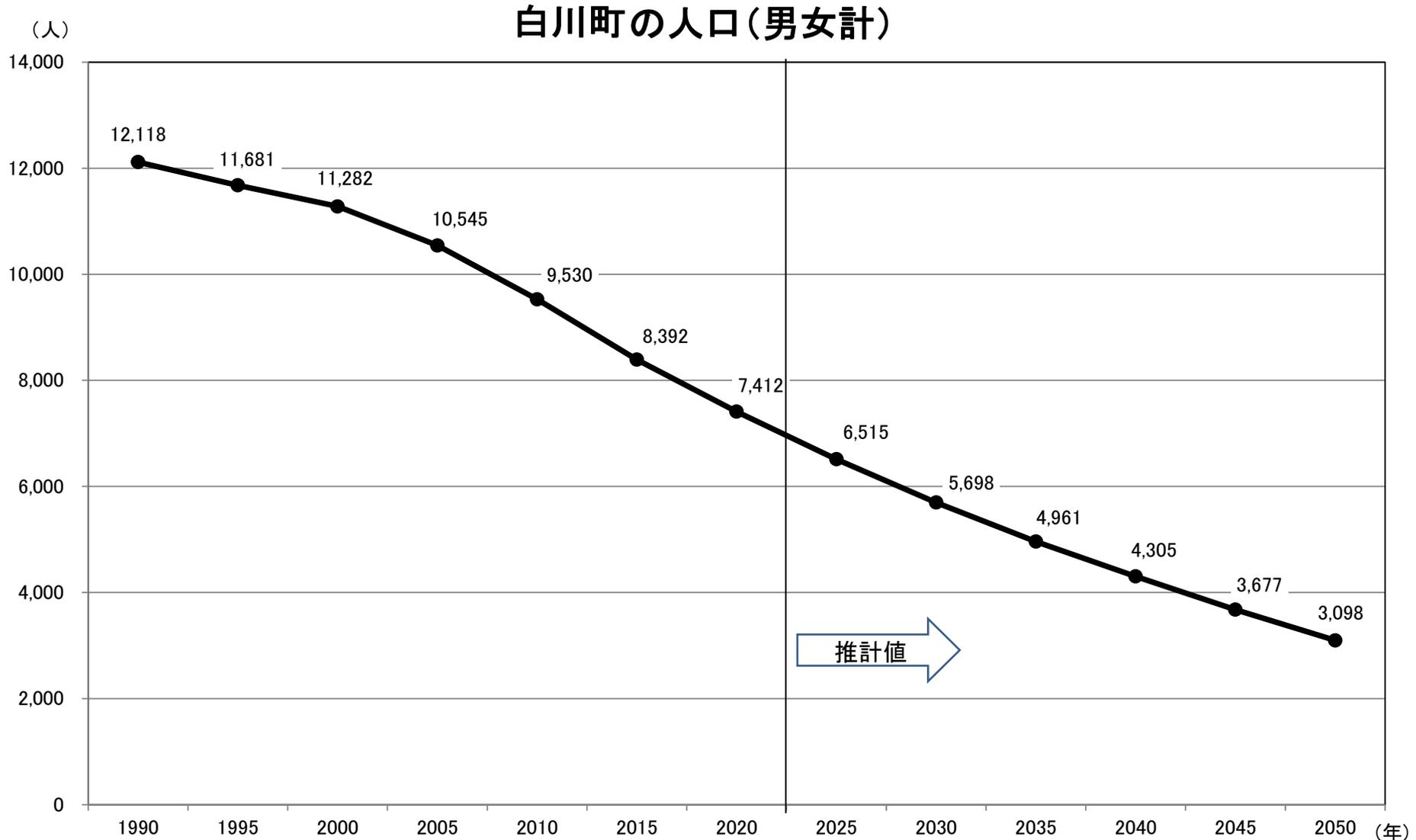
主な移動理由でみた世代別日本人の社会動態(白川町 2024年)



出典: 岐阜県「岐阜県人口動態統計調査」「岐阜県転入転出理由実態調査」2024年 ※社会動態=転入者数-転出者数

参考：将来の人口の見通し（総人口の推移）

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

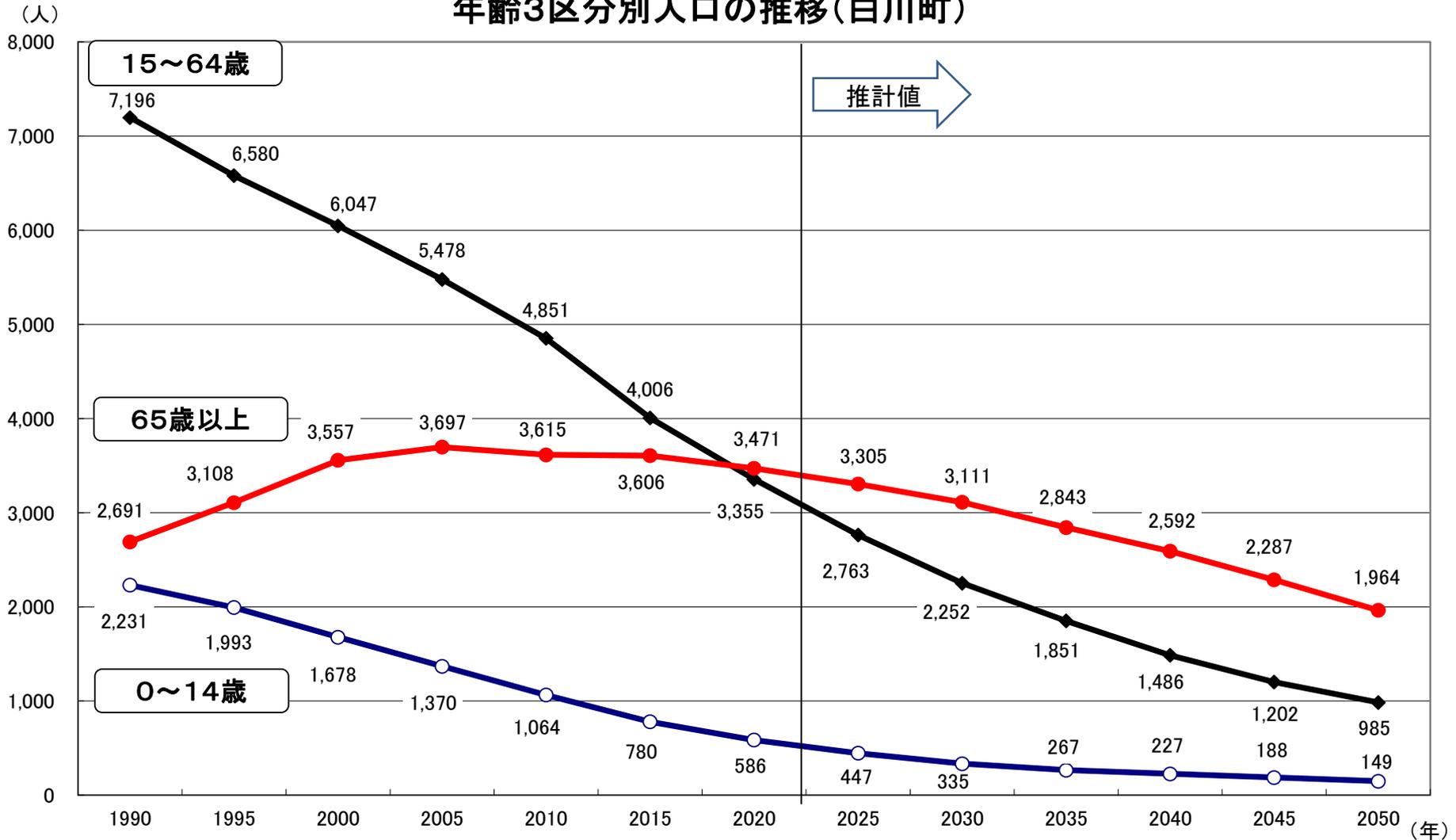


出典：総務省「国勢調査」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

参考：将来の人口の見通し（年齢3区分別人口の推移）

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

年齢3区分別人口の推移(白川町)



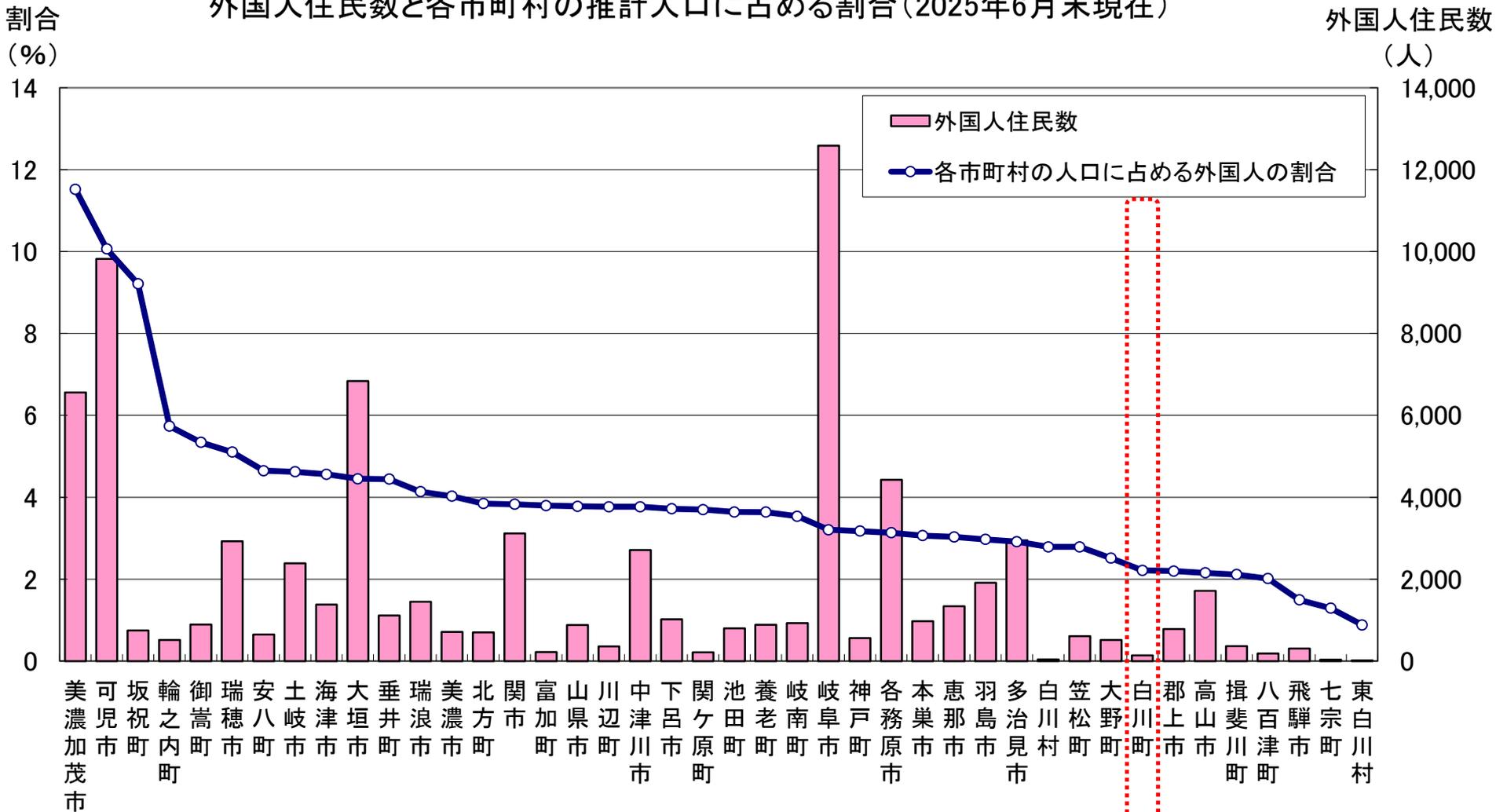
出典：総務省「国勢調査」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

注：2015年、2020年の年齢3区分別人口は、不詳補完値。

人口に占める外国人の割合は2.2%（県内35位）

岐阜県の外国人住民数77,301人のうち、白川町の外国人住民数（140人）は0.2%を占める

外国人住民数と各市町村の推計人口に占める割合（2025年6月末現在）



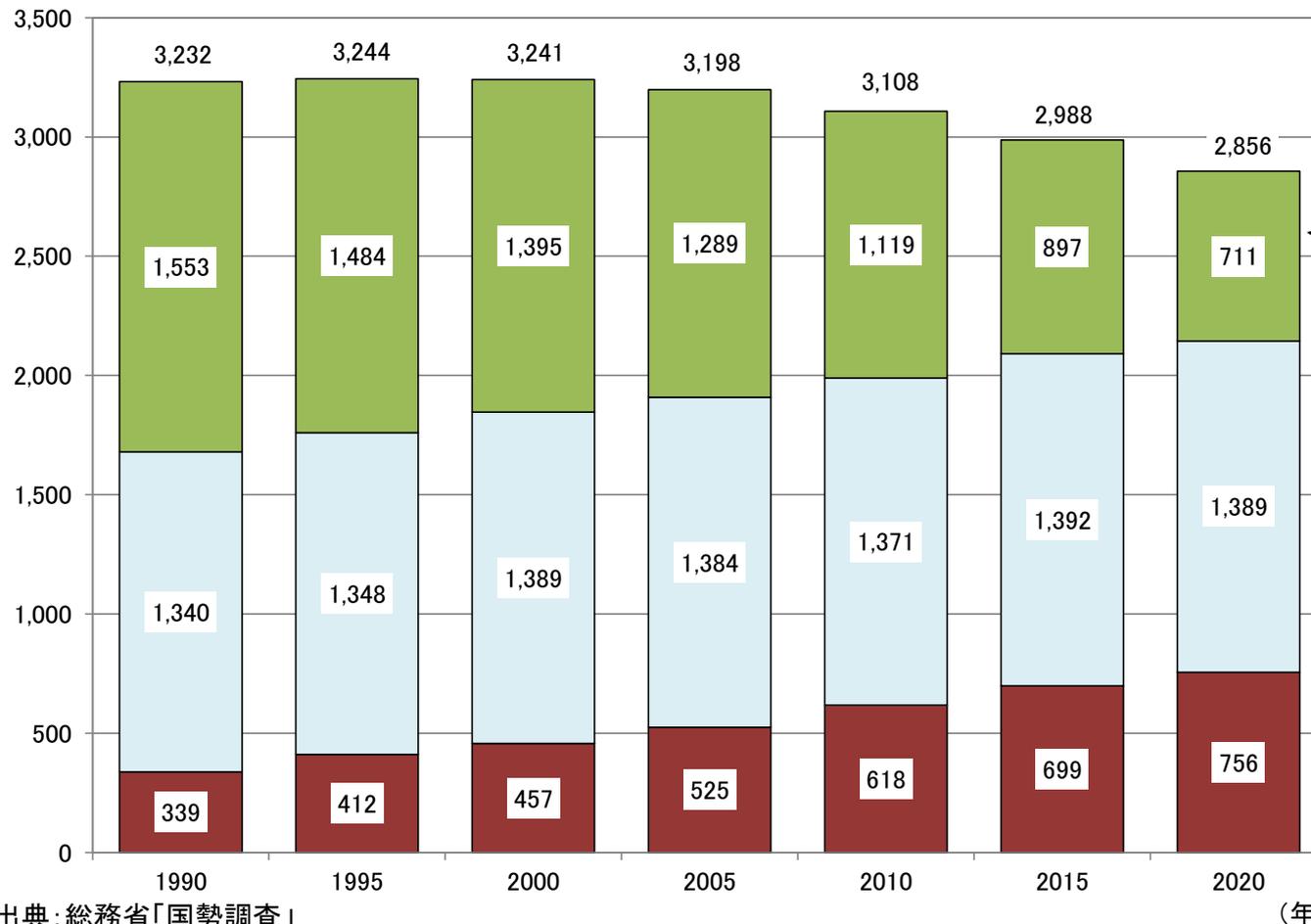
出典：法務省出入国在留管理庁「在留外国人統計（2025年6月末現在）」、割合は岐阜県「人口動態統計調査」による推計人口（2025年7月1日現在）により算出。

一般世帯数は減少を続けており、1世帯当たり人員数も減少 単独世帯は増加

単独世帯は1990年以降の30年間で2.2倍に。

1世帯当たり人員数：3.00人（2010年）→2.51人（2020年 県内30位）

（世帯） 家族類型別一般世帯数の推移（白川町）



**3世代世帯
368世帯
一般世帯数に占め
る割合12.9%
（高い方から県内12位）**

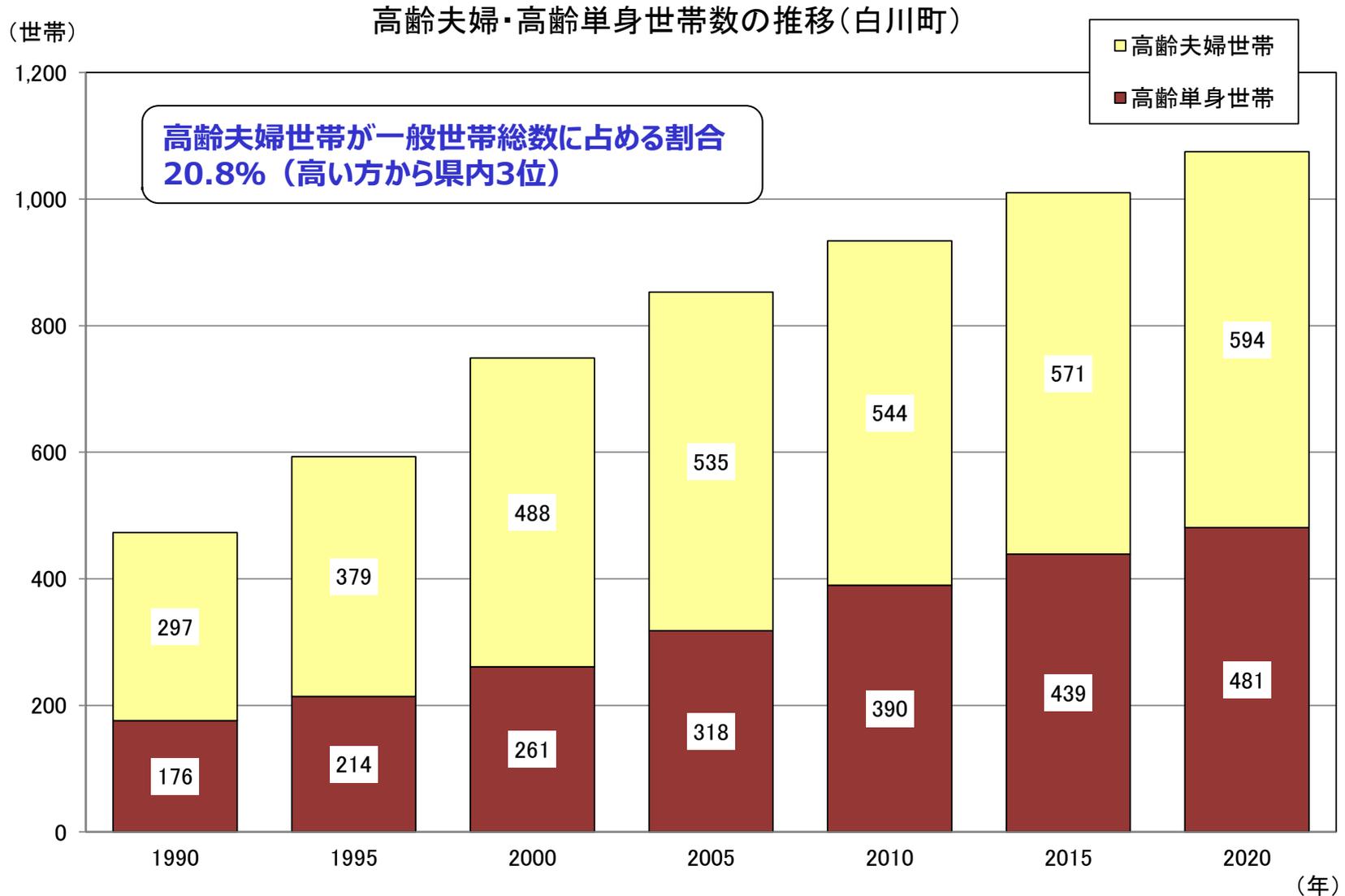
- その他
- 核家族世帯
- 単独世帯

出典：総務省「国勢調査」

注：一般世帯は、病院、社会福祉施設などで生活する人を除いたもの。

高齢夫婦世帯や高齢単身世帯が大きく増加

1990年以降の30年間で高齢夫婦世帯は2.0倍、高齢単身世帯は2.7倍に増加。



(注)・高齢夫婦世帯は夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯

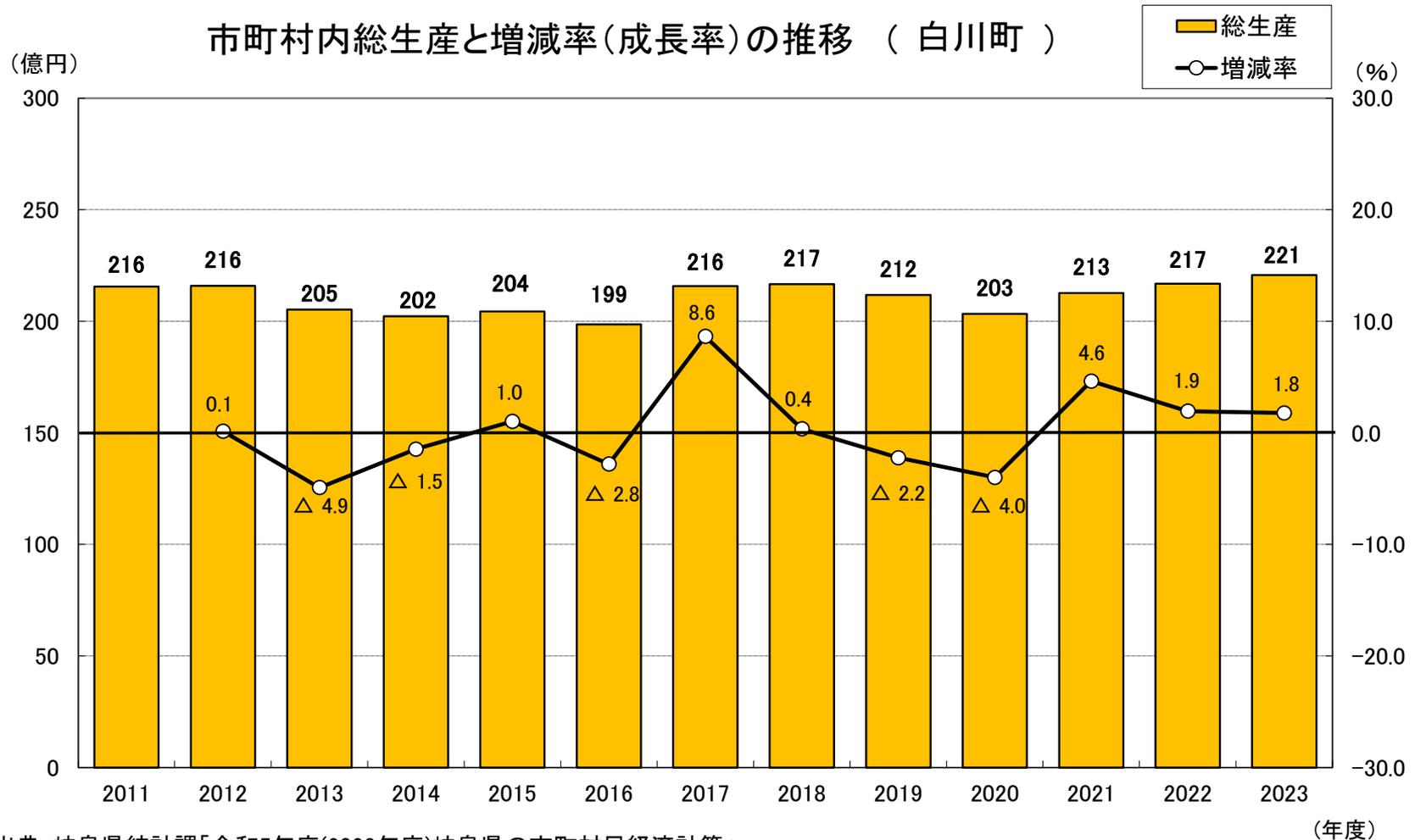
・高齢単身世帯は65歳以上の一人のみの一般世帯

白川町の総生産は221億円 1人当たり市町村民所得は274万6千円

総生産は県（名目8兆3862億円）の0.3%、県内39位

1人当たり市町村民所得は県（326万4千円）の84.1%、県内42位

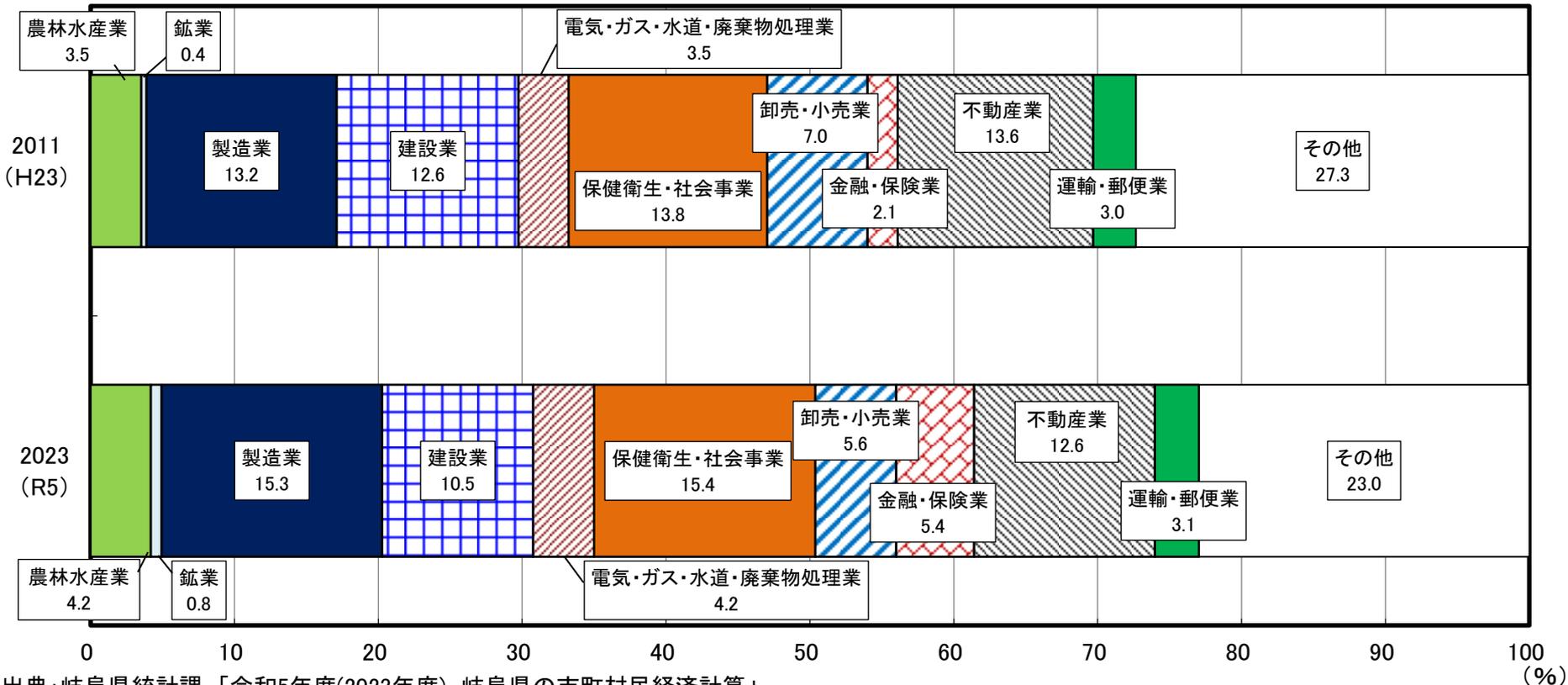
※ 1人当たり所得には企業所得等を含み、市町村全体の経済水準を示すもの



第2次産業が27%、第3次産業が68%を占める産業構造

保健衛生・社会事業、製造業の割合が高い

市町村内総生産の経済活動別構成比 (白川町)



出典: 岐阜県統計課「令和5年度(2023年度)岐阜県の市町村民経済計算」

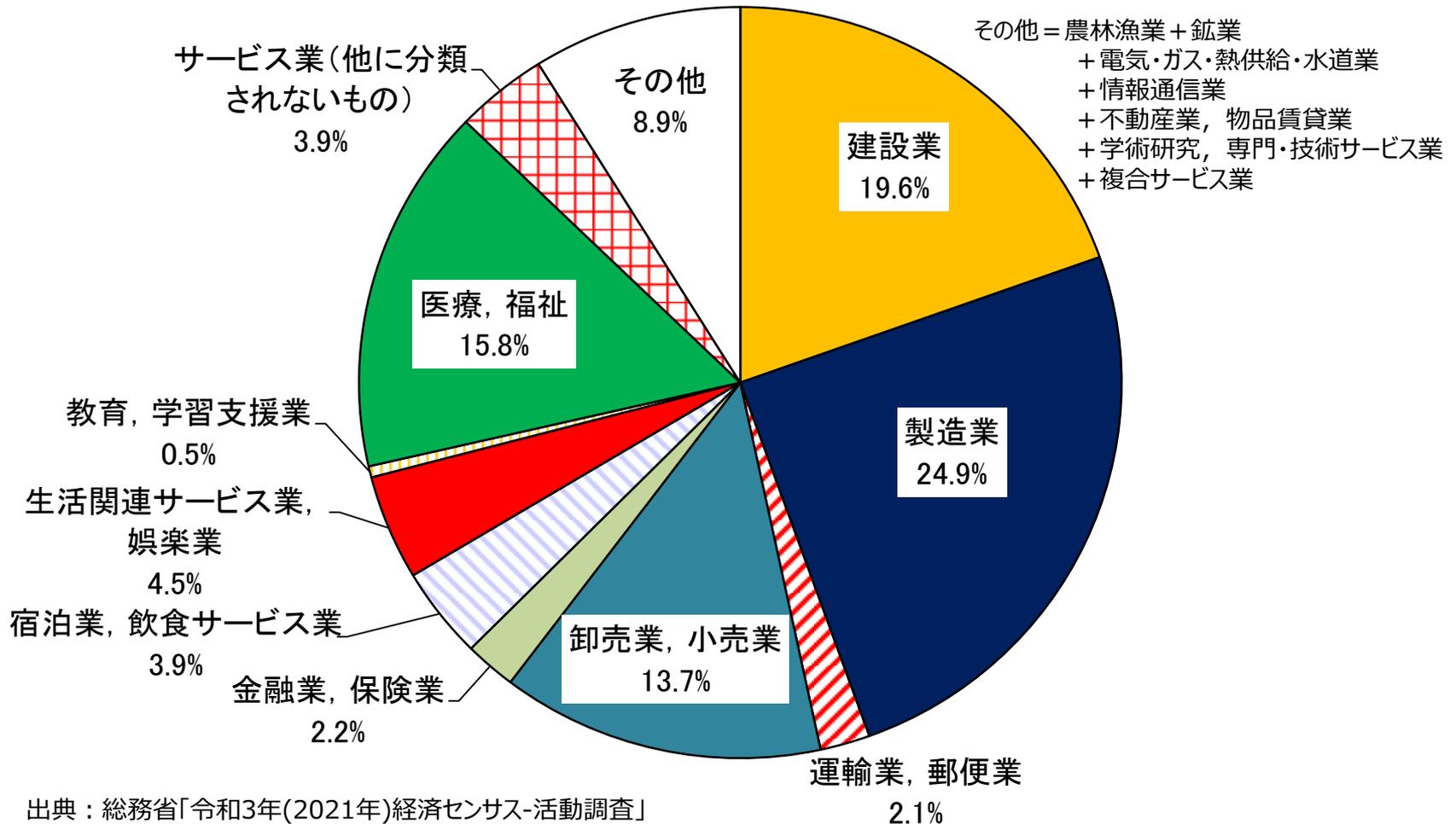
注1: 「不動産業」には、持ち家の帰属家賃を含んでいる。

注2: 「その他」は、宿泊・飲食サービス業、情報通信業、専門・科学技術、業務支援サービス業、公務、教育、その他のサービスの合計。

なお、輸出入に課される税・関税等も含めている。

産業別の従業者数は、製造業が24.9%と最も多く、 次いで建設業が19.6%を占める

産業別従業員数の構成比(白川町 2021年)



出典：総務省「令和3年(2021年)経済センサス-活動調査」
注：事業内容等が不詳の事業所を除く。公務を除く。

産業別従業者でみると、全国と比べて、 鉱業、農林漁業の特化係数が高いことが特徴

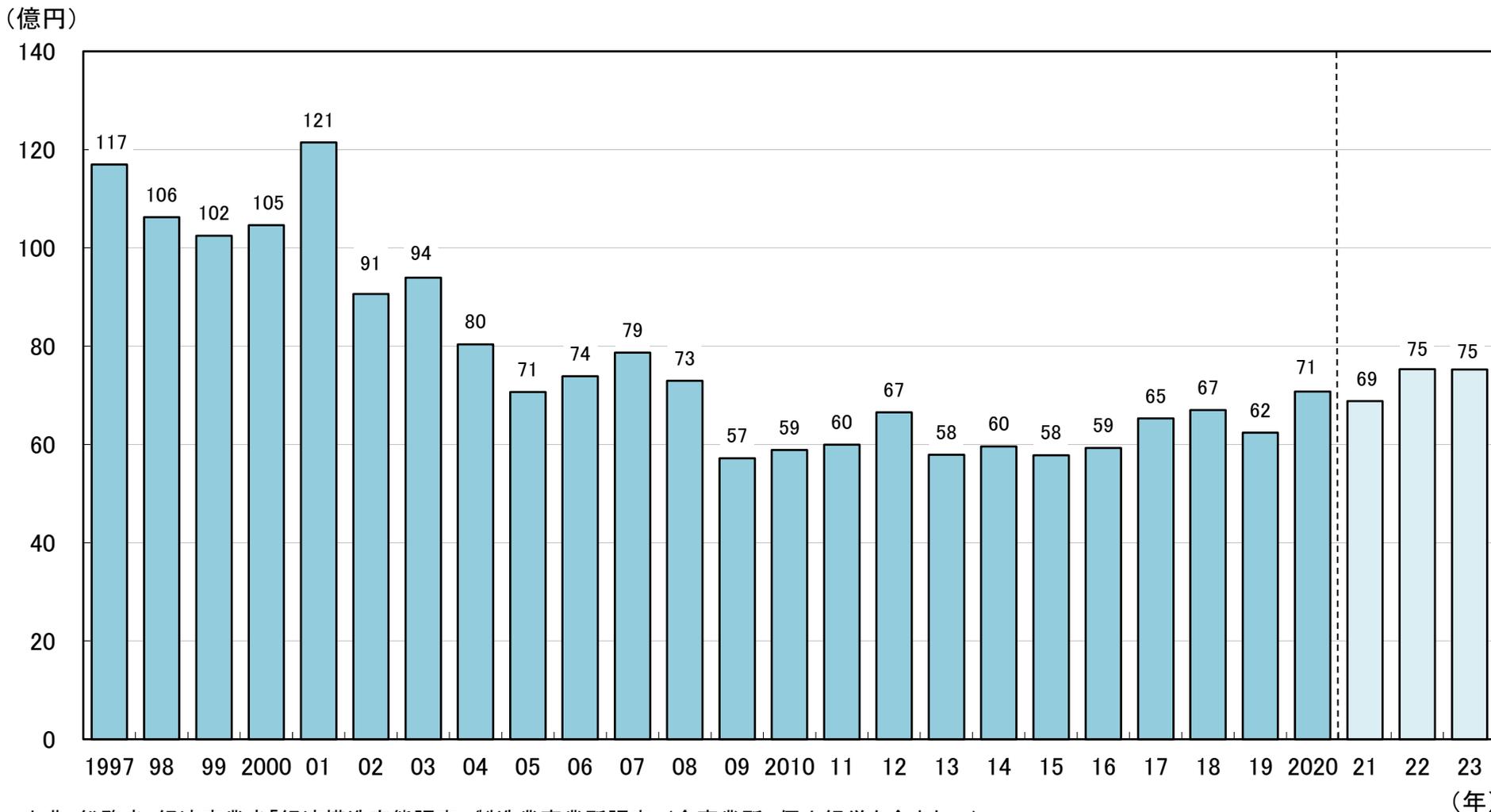
産業別事業所数、従業者数（白川町 2021年）

| | 事業所数 | 従業者数 | | 産業別従業者数の 構成比による特化係数 | |
|-------------------|------|-------|-------|------------------------|--------|
| | | (人) | 構成比 | 全国=1.00 | 県=1.00 |
| 総数 | 484 | 3,121 | 100.0 | 1.00 | 1.00 |
| 農林漁業 | 15 | 172 | 5.5 | 7.04 | 5.10 |
| 鉱業 | 2 | 12 | 0.4 | 11.31 | 5.76 |
| 建設業 | 120 | 611 | 19.6 | 3.04 | 2.87 |
| 製造業 | 75 | 778 | 24.9 | 1.64 | 1.01 |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | 3 | 5 | 0.2 | 0.46 | 0.52 |
| 情報通信業 | 1 | 1 | 0.0 | 0.01 | 0.04 |
| 運輸業, 郵便業 | 12 | 66 | 2.1 | 0.38 | 0.47 |
| 卸売業, 小売業 | 93 | 427 | 13.7 | 0.68 | 0.72 |
| 金融業, 保険業 | 8 | 68 | 2.2 | 0.84 | 0.95 |
| 不動産業, 物品賃貸業 | 9 | 20 | 0.6 | 0.23 | 0.36 |
| 学術研究, 専門・技術サービス業 | 7 | 29 | 0.9 | 0.25 | 0.41 |
| 宿泊業, 飲食サービス業 | 33 | 123 | 3.9 | 0.49 | 0.48 |
| 生活関連サービス業, 娯楽業 | 38 | 141 | 4.5 | 1.20 | 1.13 |
| 教育, 学習支援業 | 6 | 15 | 0.5 | 0.14 | 0.18 |
| 医療, 福祉 | 21 | 493 | 15.8 | 1.12 | 1.19 |
| 複合サービス事業 | 12 | 38 | 1.2 | 1.62 | 1.34 |
| サービス業(他に分類されないもの) | 29 | 122 | 3.9 | 0.43 | 0.54 |

出典：総務省「令和3年(2021年)経済センサス-活動調査」
注) 事業内容等が不詳の事業所を除く。公務を除く。

2023年の製造品出荷額等は、75億円

製造業製造品出荷額等の推移（白川町）



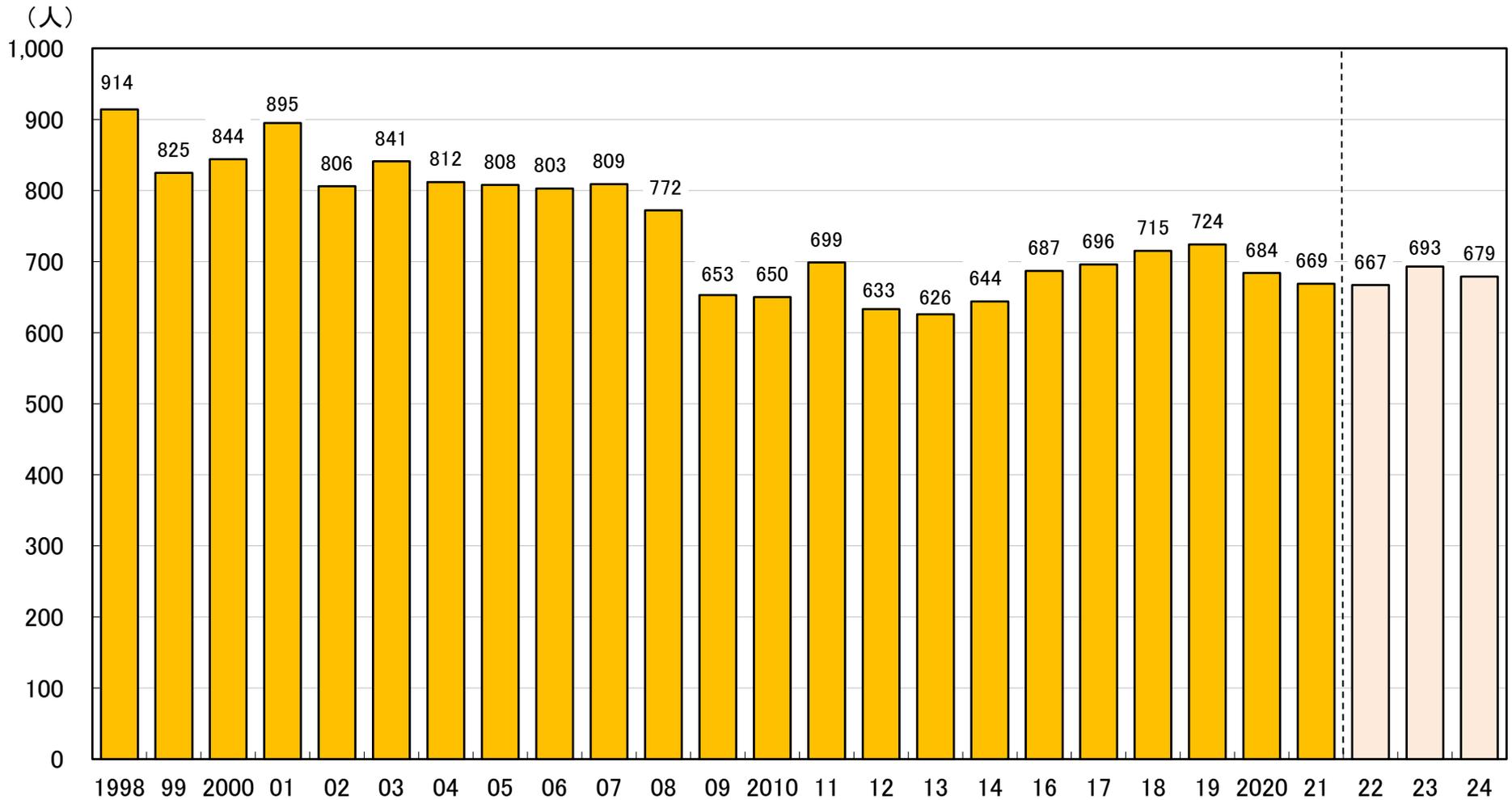
出典：総務省・経済産業省「経済構造実態調査 製造業事業所調査」(全事業所、個人経営を含まない)

1997年～2019年は経済産業省「工業統計」(従業者4人以上)、ただし2011年、2015年、2020年は総務省「経済センサス-活動調査」(従業者4人以上)

注：「経済構造実態調査 製造業事業所調査」と「工業統計」、「経済センサス-活動調査」は集計範囲等が異なるため単純比較できない。

製造業の従業者数は、近年はほぼ横ばい

製造業従業者数の推移（白川町）



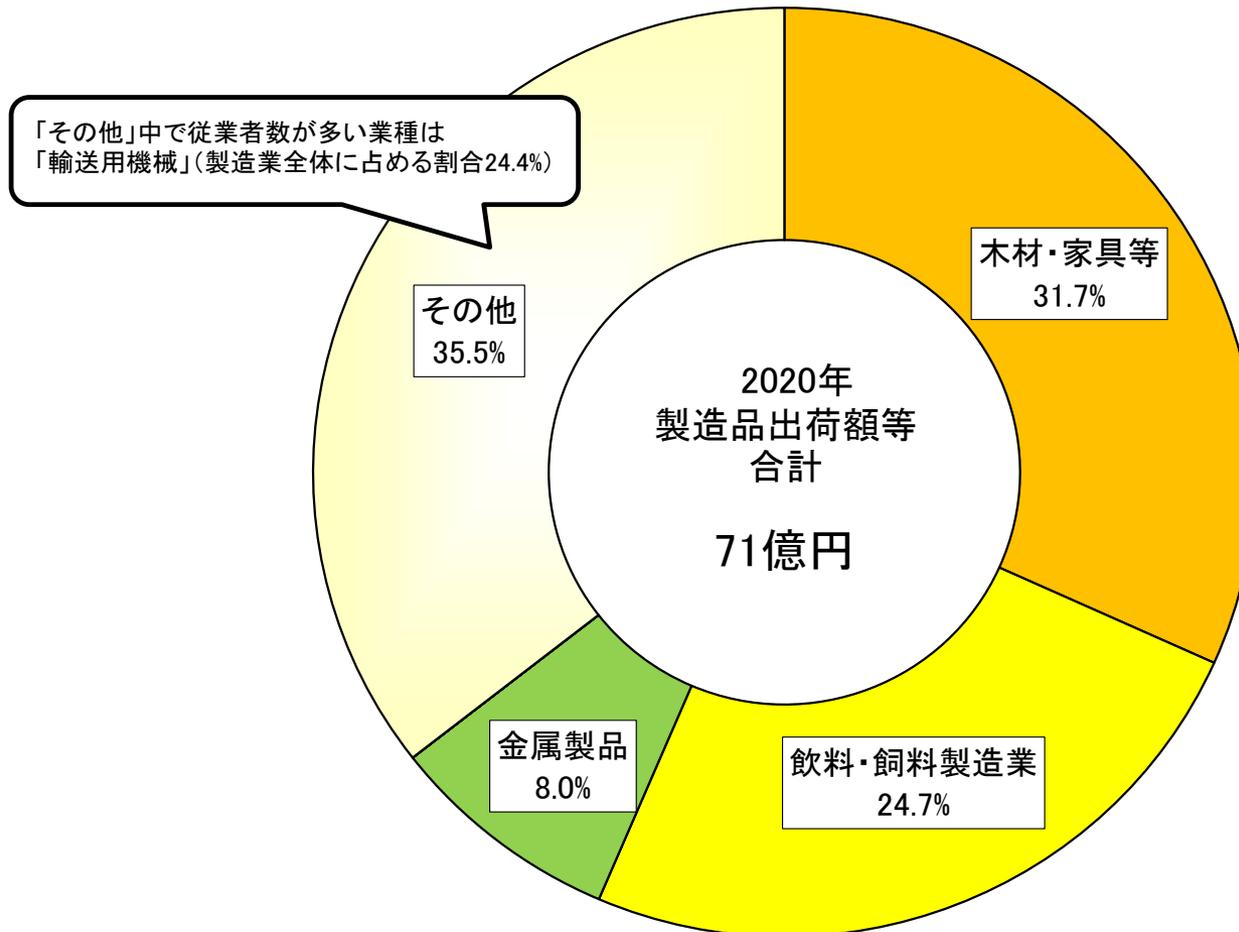
出典：総務省・経済産業省「経済構造実態調査 製造業事業所調査」(全事業所、個人経営を含まない)

1998年～2020年は経済産業省「工業統計」(従業者4人以上)、ただし2012年、2016年、2021年は総務省「経済センサス-活動調査」(従業者4人以上)

注：「経済構造実態調査 製造業事業所調査」と「工業統計」、「経済センサス-活動調査」は集計範囲等が異なるため単純比較できない。

木材・家具等が31.7%と最も多く、 次いで飲料・飼料製造業が24.7%を占める

製造品出荷額等の業種構成 < 白川町 >



出典:総務省「令和3年(2021年)経済センサス-活動調査」(従業者4人以上)

注1:「一般機械」=はん用機械器具+生産用機械器具+業務用機械器具

注2:「木材・家具等」=木材・木製品製造業(家具を除く)+家具・装備品製造業

注3:事業所数が少ないため製造品出荷額が秘匿となっている業種は「その他」に含む。

また、「一般機械」、「木材・家具等」は、内訳の業種に秘匿がある場合は、その業種の製造品出荷額は合算していない。(「その他」に含む)

注4:単位未満を四捨五入しているため、合計は100%とならない場合がある。